



「衛星放送協会 年頭記者会見」 「第44回日本アカデミー賞」 「新4K8K衛星放送視聴可能機器台数」

神谷 直亮

「衛星放送協会 年頭記者会見」

恒例の年頭記者会見、懇親会の開催を断念した衛星放送協会は、1月25日にオンライン形式で会見を実現した。同協会の小野直路会長は、この席で「放送事業を取り巻く環境は、インターネット配信サービスの台頭できびしい状況にある」と述べた上で「BS右旋帯域再編」「不正ストリーミングデバイス対策」の2大テーマに触れた。「BS右旋帯域再編」については、衛星放送協会として新規参入3チャンネル（「よしもとBS」「BS Japanet Next」「BS松竹東急」）の放送開始に向けた環境整備を支援している。具体的には、総務省が主催するBS右旋帯域再編推進連絡会の中で運営委員会を主催し電話相談窓口も開設したという。「不正ストリーミングデバイス対策」については、「昨年11月に関連16法人の賛同を得て対策協議会を設立し、さらに違法配信サービス対策連絡会を設置することで積極的な活動を推進している」と強調した。最後に注目の「第11回オリジナル番組アワード授賞式」に関し、「9月7日に東京・大手町のみより大手町ホールで開催する」と宣言した。

小野会長に続いて岡本光正専務理事が、上述した2つの取り組みについて説明を加

えた。これによれば、「BS右旋帯域再編」については、総務省の検討会、衛星放送協会が主催する帯域再編推進運営委員会、当事者による新規事業者連絡会などで、具体的なスロットの縮減とトラポンの移行が進められている。再編による視聴者への影響が考えられるので、衛星放送協会の周知広報連絡会を中心にした告知放送や関連するチャンネルのホームページなどでの多面的な対応を考えているという。

「不正ストリーミングデバイス対策」については、同対策協議会の代表理事として衛星放送協会が著作権侵害対策に取り組んでいく意気込みを表明した。具体的には、違法コンテンツの駆逐や不正ストリーミング機器の輸入・販売を阻止する対策を積極的に取り進めていくという。

「第44回日本アカデミー賞」

日本アカデミー賞協会は、1月27日に「第44回日本アカデミー賞」の優秀作品賞、優秀アニメーション作品賞、優秀監督賞、優秀脚本賞など15部門の優秀賞を発表した。2019年12月16日から2020年12月31日までに日本で公開された作品が対象である。

注目の「優秀作品賞」に選ばれたのは、

次の5作品である。

- 「浅田家！」(制作:東宝、ジェイ・ストリーム、ホリプロ他)
- 「男はつらいよ お帰り寅さん」(制作:松竹)
- 「罪の声」(制作:TBSテレビ、講談社、WOWOW他)
- 「ミッドナイトスワン」(制作:CULEN、アットムービー)
- 「Fukushima 50」(制作:KADOKAWA、松竹、IMAGICAグループ他)

一方、優秀アニメーション作品賞には、次の5作品が選ばれた。

- 「劇場版ヴァイオレット・エヴァーガーデン」
- 「映画 えんとつ町のプペル」
- 「劇場版 鬼滅の刃 無限列車編」
- 「ジョゼと虎と魚たち」
- 「STAND BY ME ドラえもん2」

優秀監督賞に選ばれたのは、次の5人である。

- 内田英治 (ミッドナイトスワン)
- 河瀬直美 (朝が来る)
- 土居裕泰 (罪の声)
- 中野量太 (浅田家)
- 若松節郎 (Fukushima 50)



写真1 衛星放送協会の年頭記者会見に臨んだ小野会長(右)と岡本専務理事(左)。



写真2 「第44回日本アカデミー賞」の最優秀賞の発表と授賞式は、3月19日にグラントプリンスホテル新高輪で行われる。(japan-academy-prize.jpのHP)



写真3 「優秀作品賞」5作品の一つに選ばれたのは、二宮和也主演の「浅田家！」であった。
(© 2020「浅田家！」制作委員会)



写真4 「男はつらいよ お帰り寅さん」も「優秀作品賞」に選ばれている。
(© 2019 松竹株式会社)

優秀脚本賞には、次の7人が選ばれている。

- 内田英治 (ミッドナイトスワン)
- 中野量太・菅野友恵 (浅田家)
- 野木亜起子 (罪の声)
- 前川洋一 (Fukushima 50)
- 山田洋次・朝原雄三 (男はつらいよ お帰り寅さん)

毎回脚光を浴びる優秀主演男優賞、優秀主演女優賞には、次の10人が選ばれた。

優秀主演男優賞

- 小栗旬 (罪の声)
 - 草彅剛 (ミッドナイトスワン)
 - 佐藤浩市 (Fukushima 50)
 - 菅田将暉 (糸)
 - 二宮和也 (浅田家！)
- 優秀主演女優賞**
- 小松菜奈 (糸)
 - 永作博美 (朝が来る)
 - 長澤まさみ (コンフィデンスマンJP プリンセス編)
 - 倍賞千恵子 (男はつらいよ お帰り寅さん)
 - 広瀬すず (一度死んでみた)

海外の作品を対象にした優秀外国作品賞に挙げられたのは、次の5作品である。

- 「スター・ウォーズ/スカイウォーカーの夜明け」
- 「パラサイト 半地下の家族」
- 「フォード vs フェラーリ」
- 「1917 命をかけた伝令」
- 「TENET テネット」

各部門の「最優秀賞」は、3月19日にグランドプリンスホテル新高輪で開催される授賞式で発表される。授賞式の司会は、フリーアナウンサーの羽鳥慎一と第43回最優秀主演女優賞に輝いたシム・ウンギョンが務めるといふ。

なお、永年にわたり多大な貢献と顕著な実績を記した故人に与えられる「会長特別賞」は、穴戸錠、大林彦彰、渡哲也の3氏に決まった。また、日本アカデミー賞協会発展のために多大な貢献をした人に贈る「協会栄誉賞」は、11月に亡くなった岡田祐介氏(東映グループ会長)に贈られることになった。

「新4K8K衛星放送視聴可能機器台数」

1月26日に放送サービス高度化推進協会(A-PAB)が、新4K8K衛星放送視聴可能機器台数を公表した。これによれば、2020年12月の出荷台数と12月末の累計台数は、次のようになっている。

- 新チューナー内蔵テレビ: 400,000 (12月分) 4,907,000 (12月末累計)
- 外付け新チューナー: 1,000 (12月分) 252,000 (12月末累計)

新チューナー内蔵録画機: 98,000 (12月分) 823,000 (12月末累計)
 新チューナー内蔵STB: 59,000 (12月分) 1,265,000 (12月末累計)
 合計: 558,000 (12月分) 7,247,000 (12月末累計)

これを踏まえてA-PABは、「12月は558,000台を記録し、単月で過去最高となった。新チューナー内蔵テレビの出荷台数も400,000台/月と過去最高を記録した。買い替え需要を見込んだ家電量販店の年末における販売力と新型コロナウイルス感染拡大に伴う巣ごもり需要が相まったものと考えられる」とコメントしている。さらに「NHKと民放5局が、12月を『新4K8K衛星放送で見ようよ!月間』に仕立て、共同制作スポットやPR番組を放送したのが功を奏したようだ」と述べている。

Naoakira Kamiya
 衛星システム総研 代表
 メディア・ジャーナリスト

SWE DISH

ニッサン新エルグランド4WD
5名定員

1.2m径・自動捕捉アンテナ搭載
車高2.2m以下(地下駐車場可)

3.6KVA NMG アイドリング運用
水圧エコ・ポール4m搭載
強化サスペンション

国内(100V)海外(240V)対応
IPコントロール
ハイビジョン映像伝送
運転席からワンマンオペレーション

SMART SNG

HD TV・3D TV and IP OVER SATELLITE ECO OPERATION

スマート・サテライト・ニュース・ギャザリング

<http://www.bizsat.jp>

設計・製造・衛星通信のことなら
エーティコミュニケーションズ株式会社
 TEL: 03-5772-9125

AT Communications k.k.